研究課題　文禄の役における朝鮮王子関連文書の調査・研究・目録化

研究経費　五〇万円

研究組織

　研究代表者　　　川西裕也（新潟大学・助教）

　所内共同研究者　金子拓

　所外共同研究者

研究の概要

（１）課題の概要

文禄の役の最中の1592年7月、朝鮮国王・宣祖の王子である臨海君・順和君が日本軍によって捕縛された。その後、二人の朝鮮王子は、約1年間にわたって日本軍の捕虜となっていたが、翌年6月、一時的な講和の成立にともなって解放された。  
この二人の朝鮮王子のエピソードについては、文禄の役における重大事として広く知られている。しかし、彼らが捕虜となっている間に日本の武将や僧へ送った文書（書簡・詩文など）が日本各地に多数現存することについては、これまでほとんど注目されてこなかった。その結果、二人の朝鮮王子の動向については不明な点がきわめて多い。  
本研究では、こうした研究現況を踏まえ、日本に現存する二人の朝鮮王子文書を網羅的に調査・研究・目録化することを目的とする。原本が確認できるものについては実見調査を行い、各文書の詳細なデータを集積する。また、各文書の発給年月日と様式・内容を検討した上で、編年目録の作成と公開を行う。

（２）研究の成果